

評価結果の公表

施策名 未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成
主管部局	都市整備部
主管課	都市計画課
関係課	都市計画課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	宅地や産業地などの都市的土地利用と農地などの自然的土地利用との調和がとれた良好な土地利用が図られ、誰もが快適で健やかな生活を送ることができる都市空間が形成されています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	29,097	0
(2)事業費	16,845	25,175
フルコスト（歳出合計）	49,713	25,175
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	3,084
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	0	0
(5)一般財源（市税収入など）	16,845	22,091
歳入合計	16,845	25,175

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「身近な地域で生活しやすいまちの形成に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	52.2	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	53.0	53.0	54.5	54.5	56.0	56.0	57.5	57.5	59.0	59.0	60.0		
実績値	56.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「身近な地域で生活しやすいまちの形成」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	市民意識調査の「身近な地域で生活しやすいまちの形成」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合は、56.5%であり、第6次大府市総合計画における現状値52.2%に比べ4.3ポイント上昇しました。これは、土地区画整理事業の実施や地区計画制度の活用により、良好な市街地形成を図った結果であると認識しています。												

有効性指標 2

指標名	総人口に占める市街化区域内の人口割合										単位	%	
											現状値	83.7	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	83.8	83.9	84.0	84.2	84.3	84.4	84.5	84.6	84.8	84.9	85.0		
実績値	84.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市街化区域内人口(人)/総人口(人)×100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	総人口に占める市街化区域内の人口割合は、84.2%となりました。本市の総人口は緩やかに増加しており、その増加分について、市街化区域に誘導できていると認識しています。												

評価結果の公表

施策名 未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成

有効性指標 3

指標名	地区特性に応じたまちづくり計画（地区計画）の事業面積（累計）										単位	ha
											現状値	166.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	207.1	207.1	220.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	238.1	
実績値	207.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	地区計画の都市計画決定面積の累計値											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和2年度は、大府木の山西部工業地区及び大府北山地区の地区計画を定め、地域の特性にふさわしい態様を備えた、良好な環境の街区整備を図りました。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
都市計画推進事業	都市計画課	32,474 (32,474)	指標名	都市計画の決定及び変更件数累計			妥当性	A
			単年度計画値	6.0			有効性	A
			単年度実績値	6.0			効率性	A
			単年度達成率	100.0%				
			最終目標に対する達成率	27.3%				
事務事業の方向性 A：拡大 暮らしやすい住宅地や都市の成長を支える産業地を確保し、快適で便利な都市空間が整うまちの形成を図る必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
土地取引事務事業	建設管理課	5,145 (5,145)	指標名	国土利用計画法受付件数			妥当性	B
			単年度計画値	5.0			有効性	B
			単年度実績値	36.0			効率性	A
			単年度達成率	720.0%				
			最終目標に対する達成率	720.0%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 市内の大規模な土地取引等の動向を把握することができます。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
都市景観推進事業	都市計画課	12,094 (12,094)	指標名	おおぶ50景関連事業件数			妥当性	B
			単年度計画値	1.0			有効性	B
			単年度実績値	1.0			効率性	B
			単年度達成率	100.0%				
			最終目標に対する達成率	-				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 条例等で規制するのではなく、市民が本市の景観を五感で感じる四季・彩・時の景観づくりを進めます。								

評価結果の公表

施策名 未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	市街化区域において、大府共和西特定土地区画整理事業を始め、多くの民間資本を活用した住宅開発が促進されるとともに、大府木の山西部工業地区や大府北山地区の地区計画を定め、居住、産業、自然環境などのバランスのとれた土地利用を推進しています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	令和3年度には一ツ屋地区、その後においても横根平子地区において、用途地域の見直しや地区計画制度を活用し計画的な土地利用を推進します。また、立地適正化計画を策定し、集約型都市構造としての都市機能の集積、居住区域の誘導、公共交通との連携を図り、利便性の高いまちづくりを推進します。

評価結果の公表

施策名 未来につながる良好な居住空間の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	未来につながる良好な居住空間の形成
主管部局	建設部
主管課	建築住宅課
関係課	建築住宅課、都市計画課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	土地区画整理事業や民間開発の適切な誘導などにより、魅力があり誰もが住みたくなる、良好な居住空間が形成されています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	54,635	0
(2)事業費	834,225	903,724
フルコスト（歳出合計）	956,957	903,724
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	12,949	74,060
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	12
(3)市債（市の借金）	522,000	580,000
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	85,126	68,730
(5)一般財源（市税収入など）	214,150	180,922
歳入合計	834,225	903,724

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「快適な住環境の整備に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	44.9	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0		
実績値	50.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「快適な住環境の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	市民意識調査の「快適な住環境の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合が令和2年度の計画値を上回った。 土地区画整理事業などにより宅地や道路等の整備が進んでいることが一因になっていると思われます。												

有効性指標 2

指標名	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率										単位	%	
											現状値	8.1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	27.7	47.2	70.1	88.1	95.9	98.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	執行済事業費/総事業費×100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業において、令和2年度の整備率は計画値を下回りました。両地区とも事業計画どおりの完了に向けて適切な指導を行います。												

評価結果の公表

施策名 未来につながる良好な居住空間の形成

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
土地区画整理事業	都市計画課	784,571 (784,571)	指標名	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率			妥当性	B
			単年度計画値	27.7			有効性	A
			単年度実績値	23.8				
			単年度達成率	85.9%				
			最終目標に対する達成率	23.8%			効率性	A
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 総合計画及び都市計画マスタープランの人口目標を達成するための施策であり、合わせて社会情勢の変化に対応した都市構造の構築と持続可能なまちづくりを図るため、引き続き事業実施を進める必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
宅地開発指導事業	建築住宅課	22,196 (22,196)	指標名	事前協議申請件数			妥当性	A
			単年度計画値	25.0			有効性	A
			単年度実績値	38.0				
			単年度達成率	152.0%				
			最終目標に対する達成率	152.0%			効率性	A
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 引き続き条例規則に基づき継続して指導等を実施する必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
市営住宅管理・整備事業	建築住宅課	150,190 (150,190)	指標名	入居募集戸数			妥当性	B
			単年度計画値	15.0			有効性	A
			単年度実績値	11.0				
			単年度達成率	73.3%				
			最終目標に対する達成率	110.0%			効率性	B
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 高齢者、障がい者や低所得者等の住宅確保要配慮者に対して、適正な修繕を行い、市営住宅の提供を行うことができました。								

評価結果の公表

施策名 未来につながる良好な居住空間の形成

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	建築物がスクラップアンドビルドで更新される時代から、長期にわたり良好な状態で利用環境に配慮した建築物が建築される時代になりつつあります。また、市街地形成においては、良好な住環境の整備が求められています。 公営住宅は、住宅セーフティネットの手段の一つであるため、高齢者、障がい者やひとり親など福祉世帯の入居割合が増えていくことが予想されます。
施策の推進 に向けた 今後の方針	大府市開発等事業の手続き及び基準等に関する条例により助言・指導していきます。 公営住宅については、退去修繕における手摺設置や室内段差解消等のバリアフリー化を進めます。 土地区画整理事業については、円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が進捗するよう、引き続き組合への指導及び補助金の交付を行い、良好な市街地の形成を図ります。

評価結果の公表

施策名 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成
主管部局	建設部
主管課	土木課
関係課	土木課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	計画的な道路や歩道の整備、点検、補修をすることで、人と車が共存する道路空間が構築され、誰もが安心して移動でき、人や物の交流が活発化し、市全体が活力あるまちになっています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	106,980	0
(2)事業費	1,098,919	1,032,915
フルコスト（歳出合計）	1,308,888	1,032,915
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	117,147	131,454
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	12,172	16,220
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	362,323	153,349
(5)一般財源（市税収入など）	607,277	731,892
歳入合計	1,098,919	1,032,915

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	都市計画道路整備率										単位	%		
											現状値	67.3		
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12			
計画値	69.1	69.1	70.1	71.8	72.9	73.6	73.6	73.6	73.6	73.6	73.6	76.0		
実績値	68.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	(都市計画道路の整備済延長／都市計画道路の計画延長) × 100													
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	整備率は現状値より上昇していますが、目標の達成水準には至っていません。													

有効性指標 2

指標名	「歩行者の安全な移動空間の整備に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	26.1	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	28.0	28.0	30.5	30.5	33.0	33.0	35.5	35.5	38.0	38.0	40.0		
実績値	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「歩行者の安全な移動空間の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合（最終目標値-現状値）÷11年間=単年度計画値												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	既存道路の拡幅、歩道設置等により、満足度が上昇していると思われます。												

評価結果の公表

施策名 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成

有効性指標 3

指標名											単位	
											現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価												

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
幹線道路整備事業	土木課	39,427 (39,427)	指標名	幹線道路の整備済延長の割合	妥当性	A
			単年度計画値	12.4	有効性	B
			単年度実績値	3.7		
			単年度達成率	29.8%		
			最終目標に対する達成率	3.7%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 道路整備に対する市民ニーズは非常に高いため、継続的に事業を推進する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
補助幹線道路改良事業	土木課	53,352 (53,352)	指標名	補助幹線道路の改良済延長の割合	妥当性	A
			単年度計画値	11.7	有効性	B
			単年度実績値	8.4		
			単年度達成率	71.8%		
			最終目標に対する達成率	8.4%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 道路整備に対する市民ニーズは非常に高いため、継続的に事業を推進する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
用地対策事務管理事業	建設管理課	4,063 (4,063)	指標名	用地交渉	妥当性	A
			単年度計画値	20.0	有効性	B
			単年度実績値	4.0		
			単年度達成率	20.0%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 県事業の円滑な推進のため、引き続き事業を推進する必要があります。						

評価結果の公表

施策名 人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
道路維持事業	土木課	392,750 (392,750)	指標名	要望等処理件数	妥当性	A
			単年度計画値	2,000.0	有効性	A
			単年度実績値	1,887.0		
			単年度達成率	94.4%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 市民が安全に通行できる道路を確保するため、市道の維持管理を実施します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
財産取得事業	建設管理課	9,792 (9,792)	指標名	寄附採納	妥当性	A
			単年度計画値	10.0	有効性	A
			単年度実績値	18.0		
			単年度達成率	180.0%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 境界測量等の調査により判明した認定道路内の個人名義土地については、速やかに所有権を取得するように努めます。道路法18条の供用の開始の効力の観点から必要です。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
財産管理事業	建設管理課	809,504 (809,504)	指標名	道路占用・使用許可、承認工事	妥当性	A
			単年度計画値	970.0	有効性	A
			単年度実績値	971.0		
			単年度達成率	100.1%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	-		
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 各種許可等申請手続きを実施することで、適切な財産管理と道路等工事の調整により、市民が安全に通行できる状態を維持します。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	道路や歩道の整備、点検、補修をすることで、誰もが安心して移動できる道路の整備を計画的に実施していく必要があります。
施策の推進 に向けた 今後の方針	都市計画道路の整備率や市民満足度の向上が図られるよう、目標達成水準に至っていない事業については継続して見直し検討を行ってまいります。

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出
主管部局	都市整備部
主管課	緑花公園課
関係課	緑花公園課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民と行政が一体となり、公園や緑地、緑道などの水と緑の空間創出とため池、農地、樹林地などの自然と景観の保全が行われ、市民の憩いの空間が整備されたまちになっています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	38,854	0
(2)事業費	882,519	678,585
フルコスト（歳出合計）	658,283	678,585
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	14,500	8,800
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	25,925	47,440
(3)市債（市の借金）	153,000	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	107,562	14,077
(5)一般財源（市税収入など）	581,532	608,268
歳入合計	882,519	678,585

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	都市公園などの面積										単位	ha	
											現状値	96.6	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	98.9	98.9	99.1	99.3	99.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	98.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の都市公園などの整備済面積												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	川池親水公園(1.0ha)と辰池公園(0.05ha)の整備を行った結果、都市公園などの面積が増加しました。												

有効性指標 2

指標名	緑道延長										単位	m	
											現状値	18,695.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	20,045.0	20,045.0	20,415.0	20,490.0	20,565.0	20,640.0	20,715.0	20,790.0	20,860.0	20,930.0	21,000.0		
実績値	19,991.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の緑道整備済延長												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	鞍流瀬緑道(共和橋)の右岸、左岸L=171mと石ヶ瀬川緑道(石ヶ瀬川人道橋～平成橋、深田)の右岸L=248mの整備を行った結果、緑道延長が増加しました。												

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

有効性指標 3

指標名	「水辺や緑と親しめる空間の整備に満足している」市民の割合										単位	%
											現状値	49.4
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	51.0	51.0	53.0	53.0	55.0	55.0	57.0	57.0	58.5	58.5	60.0	
実績値	54.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「水辺や緑と親しめる空間の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	公園や緑道の新規整備や適切な維持管理を行い、サクラ、ツツジの植栽等を実施することで、満足度が向上したと思われます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
緑化推進事業	緑花公園課	25,274 (25,274)	指標名	緑地面積			妥当性	A
			単年度計画値	61,182.0			有効性	A
			単年度実績値	61,182.0			効率性	A
			単年度達成率	100.0%				
			最終目標に対する達成率	79.6%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 市民が潤いと安らぎを感じるため、継続して実施する必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
二ツ池セレトナ運営事業	緑花公園課	30,683 (30,683)	指標名	二ツ池セレトナ入場者数			妥当性	A
			単年度計画値	25,000.0			有効性	A
			単年度実績値	31,050.0			効率性	A
			単年度達成率	124.2%				
			最終目標に対する達成率	124.2%				
事務事業の方向性 A：拡大 市民が大府市の自然を見て、触れて、学ぶ機会を更に増やすため、事業を拡大する必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
緑道整備事業	緑花公園課	18,523 (18,523)	指標名	緑道延長			妥当性	A
			単年度計画値	20,045.0			有効性	A
			単年度実績値	19,991.0			効率性	A
			単年度達成率	99.7%				
			最終目標に対する達成率	95.2%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 歩行者が安全に緑を感じながら移動することができるため、事業を継続する必要があります。								

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公園整備事業	緑花公園課	46,295 (46,295)	指標名	都市公園面積	妥当性	A
			単年度計画値	98.9	有効性	A
			単年度実績値	98.9		
			単年度達成率	100.0%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	98.9%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 今後も市民の憩いの場となる公園の整備を継続する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公園等施設管理事業	緑花公園課	327,922 (327,922)	指標名	公園管理面積	妥当性	A
			単年度計画値	97.6	有効性	A
			単年度実績値	97.9		
			単年度達成率	100.3%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	97.9%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 今後も市民が安全で快適に過ごすことができる空間を提供し続ける必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
市民緑化推進事業	緑花公園課	7,289 (7,289)	指標名	民有地緑化制度を活用した植栽本数	妥当性	A
			単年度計画値	2,000.0	有効性	A
			単年度実績値	899.0		
			単年度達成率	45.0%	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	45.0%		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 市民が緑の保全や緑花推進に参加することは、緑あふれるまちづくりのため、継続する必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
緑花維持管理事業	緑花公園課	202,297 (202,297)	指標名	竹林の保全箇所数	妥当性	A
			単年度計画値	0.0	有効性	A
			単年度実績値	0.0		
			単年度達成率	-	効率性	A
			最終目標に 対する達成率	-		
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 緑地等の維持管理を協働で行うことは、市民が身近に緑を感じられることにつながるため、市が市民と協働での実施を継続する必要があります。						

評価結果の公表

施策名 緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	都市の緑が有する機能は多岐に渡り、それらを発揮させることによって、社会的課題の解決に貢献することが期待されている。
施策の推進 に向けた 今後の方針	令和2年9月に作成した「大府市緑の基本計画」に基づいた施策を実施していきます。

評価結果の公表

施策名 下水の適正処理による快適な生活空間の創出

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	下水の適正処理による快適な生活空間の創出
主管部局	水道部
主管課	下水道課
関係課	下水道課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	下水道施設の長寿命化と耐震化が図られ、持続可能な施設の維持管理と災害時の被害の軽減を実現しています。また、中長期的な視点に立った下水道事業の経営の健全化が図られ、下水の適正処理による快適な生活空間が創出されています。
----	--

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	90,053	96,521
(2)事業費	3,032,386	3,065,942
フルコスト（歳出合計）	3,122,439	3,162,463
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	15,600	73,100
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	133,200	230,000
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	1,434,530	1,580,085
(5)一般財源（市税収入など）	1,309,015	1,099,030
歳入合計	2,892,345	2,982,215

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「下水道処理などによる水路や川などの水質保全に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	41.9	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	45.0	45.0	48.0	48.0	51.0	51.0	54.0	54.0	57.0	57.0	60.0		
実績値	46.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「下水道処理などによる水路や川などの水質保全」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	下水道の普及により、水路や川の水質が改善されているため、概ね市民の理解が得られています。												

有効性指標 2

指標名	水洗化率										単位	%	
											現状値	93.5	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	93.9	94.1	94.3	94.5	94.7	94.9	95.1	95.3	95.5	95.7	96.0		
実績値	93.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	水洗便所設置済人口/下水道処理区域内人口×100												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	単年度目標は達成できませんでしたが、普及啓発等を行うことで、毎年、水洗化率は向上しています。												

評価結果の公表

施策名 下水の適正処理による快適な生活空間の創出

有効性指標 3

指標名	経費回収率										単位	%
											現状値	64.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	70.0	73.0	76.0	79.0	82.0	85.0	88.0	91.0	94.0	97.0	100.0	
実績値	59.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	下水道使用料/汚水処理費（公費負担分を除く）×100											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和2年度に下水道事業を公営企業会計化し、その年度のみ下水道使用料の調定を13か月計上したことによる影響を受け、経費回収率が低下しました。下水道事業の経営改善への更なる取組が必要です。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
汚水整備事業	下水道課	9,612 (9,612)	指標名	汚水整備実施済面積			妥当性	A
			単年度計画値	1,298.5			有効性	A
			単年度実績値	1,296.7			効率性	A
			単年度達成率	99.9%				
			最終目標に対する達成率	96.3%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 川や海などの水質を守り、衛生的なまちづくりと快適な生活環境の基盤づくりのため、汚水施設の整備を計画的に実施していきます。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
汚水管渠等維持管理事業	下水道課	16,022 (16,022)	指標名	汚水維持管理面積			妥当性	A
			単年度計画値	1,298.5			有効性	A
			単年度実績値	1,296.7			効率性	A
			単年度達成率	99.9%				
			最終目標に対する達成率	96.3%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 老朽化した汚水管路や施設の適切な維持管理のため、計画的な調査設計を実施し事業を推進していきます。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
水質環境保全事業	環境課	4,038 (4,038)	指標名	合併処理浄化槽設置費用補助基数			妥当性	B
			単年度計画値	3.0			有効性	B
			単年度実績値	3.0				
			単年度達成率	100.0%			効率性	B
			最終目標に対する達成率	100.0%				
事務事業の方向性 B：現状のまま継続 水路や河川などの公共水域の水質を保つため、合併処理浄化槽の設置（転換）促進は必要です。								

評価結果の公表

施策名 下水の適正処理による快適な生活空間の創出

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名			
下水道経営事業	下水道課	2,804 (2,804)	指標名	一般会計からの繰入金（他会計負担金、他会計補助金等）	妥当性	A
			単年度計画値	1,300.0	有効性	A
			単年度実績値	1,300.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	B
事務事業の方向性						
A：拡大						
下水道は安全で快適な社会環境に必要不可欠です。将来に渡って安定的に持続していくために、使用料の見直しや経営の効率化が必要です。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	下水道事業を公営企業会計化したことで、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を作成し、経営状況を正確に把握できるようになりました。
施策の推進に向けた今後の方針	健全な事業経営を行えるように、下水道施設の計画的な更新及び適正な使用料の見直し等、更なる改善に取り組みます。

評価結果の公表

施策名 安全な水の安定供給

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	まちの健康
政策	快適で便利な都市空間が整うまち
施策	安全な水の安定供給
主管部局	水道部
主管課	水道課
関係課	水道課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	水道施設の適切な維持管理と計画的な更新により、災害に備えるとともに、健全な経営基盤を維持し、安全な水を安定的に供給しています。
----	---

3 令和2年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 2決算	R 3予算
(1)人件費	107,727	114,945
(2)事業費	2,154,042	2,432,926
フルコスト（歳出合計）	2,261,769	2,547,871
歳入（お金の出所）	R 2決算	R 3予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	3,250	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	132,870	14,346
(5)一般財源（市税収入など）	2,059,714	2,193,211
歳入合計	2,195,834	2,207,557

4 「まちの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「水の安定供給に満足している」市民の割合										単位	%
											現状値	73.4
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	75.0	75.0	77.0	77.0	79.0	79.0	81.0	81.0	83.0	83.0	85.0	
実績値	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「水の安定供給」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	災害や事故による断水などはなく満足度が上昇したと思われます。感染症対策として手洗い・うがいの実施が増え、水道水に触れる機会が増えているため、引き続き安定供給に努めます。											

有効性指標 2

指標名	経常収支比率（水道事業会計）										単位	%（以上）
											現状値	127.5
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	125.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	経常収益/経常費用×100											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表しています。100%以上であれば経常利益を生み出していることを意味しますので125.6%は、収支が良好であることを示しています。											

評価結果の公表

施策名 安全な水の安定供給

有効性指標 3

指標名	管路健全度										単位	%
											現状値	90.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	92.0	93.0	93.5	94.0	94.5	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0	98.0	
実績値	90.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	管種ごとに設定した更新基準年数以内の管路延長/管路延長×100（但し、管路延長は口径50ミリ以上）											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	第5次大府市総合計画における重要給水施設へ給水する水道管の耐震化については概ね完了しましたが、他占有者との関連工事の中止や延期などにより未発注となった工事があり、管路健全度は予定数値に達していません。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
経営基盤の充実事業	水道課	0 (0)	指標名	水道料金の調定件数	妥当性	A
			単年度計画値	205,440.0	有効性	A
			単年度実績値	204,000.0		
			単年度達成率	99.3%		
			最終目標に対する達成率	89.9%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 安全な水道水を安定的に供給するため、水道事業の健全な経営を推進していく必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
水道事業補助事業	財政課	117,722 (117,722)	指標名	補助金額	妥当性	A
			単年度計画値	120,000.0	有効性	A
			単年度実績値	117,321.0		
			単年度達成率	97.8%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
事務事業の方向性						
C：縮小 新型コロナウイルス感染症対策として令和2年度に実施しました。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
配水施設の整備事業	水道課	0 (0)	指標名	施設の健全度割合	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	100.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 指標を達成することができています。						

評価結果の公表
 施策名 安全な水の安定供給

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
管路施設の整備事業	水道課	0 (0)	指標名	新設配水管布設延長	妥当性	A
			単年度計画値	195.0	有効性	A
			単年度実績値	294.9		
			単年度達成率	151.2%		
			最終目標に対する達成率	24.7%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 老朽管の更新を計画的に行い、耐震化を図ります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
配給水管理事業	水道課	0 (0)	指標名	有収率	妥当性	A
			単年度計画値	97.0	有効性	A
			単年度実績値	97.1		
			単年度達成率	100.1%		
			最終目標に対する達成率	100.1%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 指標を達成することができています。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
水の有効利用推進事業	水道課	0 (0)	指標名	情報提供（ホームページ）	妥当性	A
			単年度計画値	12.0	有効性	A
			単年度実績値	12.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	9.1%	効率性	A
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 現状を維持しつつ、新たなPR方法や機会を探っていきます。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	市勢の発展や人口増加に伴う水需要の増加に対応するため、時世に合わせた事業を展開し、安全な水道水を安定的に供給する体制を整えてきました。 その取組の一つとして、平成22年度から重点的に進めてきた市内46か所の避難所や病院などの重要給水施設に接続する配水管の耐震化を令和2年度末までに完了しました。 令和2年度には、「安心・安全な水をいつでもどこでも持続可能な大府市の水道」を基本理念とする『大府市水道ビジョン2030』を策定し、このビジョンに掲げる目標を達成するため、投資・財政計画（収支計画）を作成し、「大府市水道事業経営戦略」を策定しました。
施策の推進に向けた今後の方針	『大府市水道ビジョン2030』の中で、具体的な施策を展開するうえでの目指すべき方向性（目標）として、「安全」「強靱」「持続」の3つの柱を掲げました。また、「大府市水道事業経営戦略」では、投資・財政計画として、施設、設備及び管路の更新の考え方、収支の見通しや今後の取組などを掲げました。 このことにより、今後も水道施設の適切な維持管理や更新等により、将来においても安全な水道水を安定的に供給できるよう、水道事業の安定経営に努めていきます。